

ぬまっこ 号外

ぼんじてってい ～凡事徹底～

令和6年1月9日

発行者

校長 三浦 了二

あけましておめでとうございます。2学期 後半スタート

2学期後半が今日からスタートしました。

今年のお正月は、雪もなく、暖かな日が続き天候的には大変穏やかな年明けとなりました。しかし一方で、元日に北陸地方を襲った地震、また、航空機の痛ましい事故など、人の命が奪われる悲しいニュースもありました。改めて、当たり前の日常に感謝するとともに、命の大切さを感じたお正月となりました。

さて、学校も冬休みが明け、残す授業日数も50日弱となりました。学習面や生活面で1年のまとめと、次のステップへの準備期間となります。クラスの目標、自分自身の目標を振り返りながら、1年のまとめをしっかりとできるよう支援してまいります。(以下、集会での校長の話)

今年は辰年です。十二支の5番目にあたる辰は「陽の気が動き、草花がなびいて大きく成長し、形が整っている様子」という意味になり、このことから辰年は、物事が成長、発展し、形をなす。そんな年になると言われています。「これまでのコツコツと蓄えられた学びが芽を出し、活力に満ちた草木のようにすくくと伸びて、努力が花を咲かせる」というような意味になるのでしょうか。

さて、昔、中国の「ちょう そうよう」という画家がお寺に4匹の竜の絵をかきました。その竜には瞳がありませんでした。「ちょう そうよう」は「瞳をかくと、竜が空にとんでいってしまう」というのですが、人々は信じませんでした。人々が無理に瞳を描かせたところ、瞳を描いた2匹は天に昇っていき、まだ瞳を描かなかった竜はそのまま飛び出さず残ったという話です。竜の絵に瞳を点ず(描く)。つまり、最後の肝心な仕上げを意味します。最後まで仕上げたことで竜は飛び立ちました。このことばはどちらかといえば「画竜点睛を欠く」というように使われることが多いです。つまり、肝心な部分が欠けていて、全体が台無しになっているという意味です。

この1年。皆さんはクラスや学年の友達と、勉強や運動に頑張ってきました。よいクラスになるよう、そして勉強もその学年の内容をしっかりと学び、積み上げてきました。「画竜点睛を欠く」ことのないよう、最後のまとめをしっかりと行いましょう。次の学校・学年に向けて肝心な仕上げを頑張りましょう。

ロサンゼルスドジャースの大谷選手寄贈のグローブが届きました。

報道でも大きく取り上げられていたように、大谷選手からの「野球しようぜ」のメッセージと共に、グローブが3個本校にも届きました。本日の集会で児童代表に贈呈しました。

今後は体育の時間などで使用していく予定です。

今回は野球用品でしたが、野球に限らず、あらゆることに全力で取り組む気持ちを持つきっかけになればと思います。

